



空気線図による空調機能力の計算のページを作成しました。

■空気線図による空調機能力の計算ができます。

空調設備設計の実務で使える、空調機の能力を計算するWebページを作成しました。

室内負荷計算と換気計算にて求められた、給気量・外気量・顕熱比・吹出し温度差を入力すると、冷却能力kW、加熱能力kW、加湿能力kg/hを算出します。

<使い方>

- 空調系統名を入力します。
- 外気条件のデフォルト値は、国交省 建築設備設計基準 平成30年版 東京地区です。
- 冷却能力計算：デフォルトの各数値を変更してください。冷却能力が計算されます。
外気条件、室内条件、給気量SA、外気量OA、吹出し温度差、顕熱比
- 加熱・加湿能力計算：デフォルトの各数値を変更してください。
- 加湿方法を選択してください。加熱・加湿能力が計算されます。
- 全外気方式の場合は給気量SAと外気量OAに同じ数値を設定してください。
- 印刷は、ブラウザの印刷機能をお使いください。
- 冷却コイルの出口条件は相対湿度95%固定としています。

※本ページに掲載されているソフトウェア、または使用不具合等により生じたいかなる損害に関しても一切の責任を負いません。

url

https://www.techno-ryowa.co.jp/rr_chart_cal/

空気線図による空調機能力の計算

<使い方>

- 空調系統名を入力します。
- 外気条件のデフォルト値は、国交省 建築設備設計基準 平成30年版 東京地区です。
- 冷却能力計算：デフォルトの各数値を変更してください。冷却能力が計算されます。
外気条件、室内条件、給気量SA、外気量OA、吹出し温度差、顕熱比
- 加熱・加湿能力計算：デフォルトの各数値を変更してください。
- 加湿方法を選択してください。加熱・加湿能力が計算されます。
- 全外気方式の場合は給気量SAと外気量OAに同じ数値を設定してください。
- 印刷するときは、上の印刷ボタンをクリックすると印刷画面になります。
- 冷却コイルの出口条件は相対湿度95%固定としています。

※本ページに掲載されているソフトウェア、または使用不具合等により生じたいかなる損害に関しても一切の責任を負いません。

冷却能力計算

	乾球温度 ℃	相対湿度 %	絶対湿度 g/kg	比エンタルピー kJ/kg	露点温度 ℃	湿球温度 ℃
外気1	34.2	56.3	19.2	83.6	24.3	26.6
室内2	26.0	50.0	10.5	52.9	14.8	18.5
混合点3	27.6	52.8	12.2	59.0	17.1	20.3
C/C出口4	17.0	83.1	10.1	42.6	14.1	15.1
給気5	17.0	83.1	10.1	42.6	14.1	15.1

SA量 10000 m³/h, OA量 2000 m³/h
 吹出温度差: 9 ℃, SHF 0.89
 冷却能力 60.4 kW (0.33×SA×Δt_h (混合点-C出口))

加熱・加湿能力計算

	乾球温度 ℃	相対湿度 %	絶対湿度 g/kg	比エンタルピー kJ/kg	露点温度 ℃	湿球温度 ℃
外気1	1.8	40.1	1.7	6.1	-9.2	-1.9
室内2	22.0	40.0	6.6	38.8	7.8	13.6
混合点3	18.0	44.1	5.6	32.4	5.6	11.1
H/C出口4	29.4	22.0	5.6	43.9	5.5	15.3
給気5	27.0	29.8	6.6	44.0	7.9	15.4

SA量 10000 m³/h, OA量 2000 m³/h
 加湿方法 気化式加湿
 吹出湿度差: 5 ℃, SHF 1
 加湿量 11.8 kg/h (1.2×OA×Δx (乾球-外気))
 加熱能力 38.0 kW (0.33×SA×Δt_h (混合点-H出口))

TECHNO RYOWA

ホーム > 空気線図による空調機能力の計算

お問い合わせはこちらから
ご質問や見積依頼など